

# 情報コミュニケーション研究科

## 情報コミュニケーション研究科の研究プロジェクト

情報コミュニケーション研究科では、学際的で独自の研究を志す大学院生を広く募集していますが、以下に示す研究プロジェクトに参加しながら、研究を進めることもできます。

参加希望者は、該当研究プロジェクトを担当する研究指導をもつ教員にコンタクトしてください。

なお、研究プロジェクト参加にあたっては、プロジェクト関連科目に関する知識や、参考文献の理解が必要となります。

### アジア太平洋・パフォーマンス・アーツ・比較研究

担当教員	波照間 永子 教授 須田 努 教授
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 東アジアを対象とした芸能・舞踊の比較研究</li><li>● アジア太平洋地域におけるパフォーマンス・アーツの学際的研究とネットワークの構築</li></ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 東アジア舞踊の比較研究と共創 (科研費 基盤研究(B)2020~2024)</li><li>● 明治大学 &amp; 成均館大学 (韓国) 院生共同研究発表会(大学院GP 2014~)</li><li>● 明治大学アジア太平洋パフォーマンス・アーツ研究所 (<a href="http://www.riappa-meiji.jp/">http://www.riappa-meiji.jp/</a>)</li></ul>
関連科目	社会文化史 / 表象文化論
メッセージ	情報コミュニケーション研究科は、2014年8月、韓国の成均館大学大学院芸術学研究科との交流協定を締結し、国際共同研究「明治-成均館プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは同年、学内GPプログラムに採択され、明治と成均館の両校で表現メディアに関する院生共同研究発表会を毎年開催しています。これを契機に、自身が所属する国際学会でも研究成果を積極的に発信して行くことを期待します。

### 現代アメリカ研究

担当教員	清原 聖子 教授 鈴木 健 教授
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>● コロナ禍のアメリカにおける政治コミュニケーションの変容</li><li>● 大統領選挙キャンペーンの研究</li></ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 明治大学現代アメリカ研究所、2021年度明治大学大学院研究科共同研究「コロナ禍のアメリカにおける政治コミュニケーションの変容」</li></ul>
関連科目	現代政治学 / 説得コミュニケーション論 / 国際関係論 / メディア論 / メディア社会史
メッセージ	2020年アメリカ大統領選挙は、新型コロナウイルスの感染拡大の中で行われ、民主党の初の「バーチャル党大会」や記録的に高い投票率など異例な選挙となりました。本研究プロジェクトでは、これを皮切りに学際的なアメリカ研究を行っています。定期的に研究会やシンポジウムを開催し、国内外の研究者との研究交流の機会を設けていますので、積極的に研究活動に参加する姿勢が求められます。

### 科学・社会・コミュニケーション

担当教員	石川 幹人 教授 蛭川 立 准教授 宮本 真也 教授
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 疑似科学広告を用いた消費者リテラシー教育</li><li>● ハイパーメリトクラシー時代における疑似科学</li><li>● 命の選別と価値づけ~人格の承認と優生思想</li><li>● 疑似科学信奉の認知心理学的背景</li><li>● 日本における補完代替医療の受容と現状</li></ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 疑似科学を科学的に考えるサイト (<a href="https://gijika.com">https://gijika.com</a>)</li><li>● 明治大学科学コミュニケーション研究所 (<a href="https://gijika.com/sci">https://gijika.com/sci</a>)</li></ul>
関連科目	科学と社会 / 科学史・科学哲学 / 認知情報論 / 現代思想論 / ジャーナリズム論 / メディア技術と社会 / 行動経済学 / 専門社会調査
メッセージ	一般市民の科学理解を向上させる活動を行っています。科学について、特に科学的方法論とその限界について深い理解を目指し、社会的活動をアクティブにできる大学院生を募集しています。

### 越境と家族

担当教員	根橋 玲子 教授 施 利平 教授
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日本で就労・生活している外国につながる人々に関する研究 (子どもの教育戦略 / アイデンティティ / 日本の職場文化と適応 / ライフコースの多様性と定住 / 定住・帰国の選択 / 世代間関係と結婚・出産 / 日本の移民政策 / 多文化共生社会)</li><li>● 日本で働く高度外国人材の多文化アイデンティティモデル: ダイバーシティ経営に向けて (科研費基盤研究(C)2020~2023)</li></ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 明治大学国際・ダイバーシティ教育研究所 <a href="https://sites.google.com/view/meiji-university-riide/">https://sites.google.com/view/meiji-university-riide/</a></li></ul>
関連科目	異文化間コミュニケーション / 家族社会学 / 組織コミュニケーション / 社会文化史 / ジェンダー論
メッセージ	グローバル化の進展に伴い、地域や国を越えて移動する個人や家族が増えています。移動の動機や原動力は何か、移動先(ホスト社会)での問題や課題は何か等を一緒に研究してみませんか。

### ジェンダー・カルチャー・コミュニケーション

担当教員	高馬 京子 教授 田中 洋美 准教授
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>● ナショナル・トランスナショナルなメディア空間におけるジェンダー規範の構築</li><li>● デジタルメディアとジェンダー</li><li>● デジタルメディアとファッション</li></ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター (<a href="https://www.meiji.ac.jp/infocom/gender/">https://www.meiji.ac.jp/infocom/gender/</a>)</li><li>● 明治大学ジェンダー・カルチャー・コミュニケーション研究所</li><li>● ナショナル・トランスナショナルなメディア空間におけるジェンダー規範の構築 (科研費 基盤研究(c)2021~2025)</li><li>● 明治大学人文科学研究科「現代日本のメディアにおけるジェンダー表象: 女性誌『an・an』における女性像の変遷」</li></ul>
関連科目	ジェンダー論 / 超域文化論
メッセージ	日本を拠点にジェンダー視点やトランスナショナルな視点からメディア文化を研究するユニークなプロジェクトです。グローバル化・デジタル化の時代におけるジェンダー、カルチャー、コミュニケーションの諸相についての深い理解を目指し、研究活動をアクティブに推進できる大学院生を募集しています。